

Dentistry, Quo Vadis?

—フロネシスに基づいて(VIII)— “信頼される歯科医療とは”

ヒトライフステージにおける歯学の役割

—骨の研究から咬合学を考える—

基礎科学者と臨床家が一堂に会して歯学の将来を議論する「Dentistry, Quo Vadis? “歯学は何処へ?”」は今年で19回目を迎える。1stステージ「う蝕、歯周病、不正咬合、3つの病因論について」(10回)、その総括を(1回)、そして2ndステージでは、“フロネシスに基づいて”(7回)において、骨代謝研究の専門家の参加を得て基礎医学と歯科臨床学からインプラント学確立を試み、貴重な知的財産を得た。そればかりではない。多くの論議から、ヒトの全生涯にわたって「Dentistry」の役割・使命が改めて明確になったのである。そこで、今年度は、植田耕一郎先生に特別講演「ヒトライフステージにおける歯学の役割」をお願いして、歯学の理想的在り方を考えてみたい。同時に、歯学において未だに科学的根拠に欠けている咬合「学」についても論議したい。まず、高橋直之先生には「細菌と骨代謝」、横瀬敏志先生には「力と骨代謝」、小宮山彌太郎先生、春日井昇平先生、吉成正雄先生には分野別に「インプラントの長期維持に必要とされるメンテナンス」についてパネルディスカッション形式でお話していただく予定である。口腔インプラントを横断的切り口として「咬合学」の在り方を考察する。いよいよ総合的視野に立った「Dentistry」のアイデンティティを示す時が来ている。

Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

2 Days Seminar 2016 12/10 ▶ 12/11

10:00~18:00

9:30~17:00

座長・総評



高添 一郎
東京歯科大学
名誉教授

座長



須田 立雄
日本学士院会員
埼玉医科大学
ゲノム医学研究センター客員教授

座長



山田 正
東北大学名誉教授
介護老人保健施設
清和苑副施設長

特別講演

植田 耕一郎

日本大学歯学部
摂食機能療法学講座教授

ヒトライフステージにおける
歯学の役割



演者

小宮山 彌太郎

ブローネルク・オッセointegrेशन・センター
東京歯科大学臨床教授
神奈川歯科大学客員教授

演者

高橋 直之

松本歯科大学
大学院歯学独立研究科長
総合歯科学研究所長

演者

春日井 昇平

東京医科歯科大学
大学院歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学教授

演者

吉成 正雄

東京歯科大学
口腔科学研究センター
客員教授

演者

横瀬 敏志

明海大学
歯学部機能保存回復学講座
保存治療学分野教授

コメンター

山口 朗

東京医科歯科大学名誉教授
東京歯科大学
口腔科学研究センター客員教授

会場

星陵会館(東京)

千代田区永田町2-16-2(永田町駅下車6番出口から徒歩3分)
Tel.03-3581-5650 <http://www.seiryokai.org/kaikan.html>

参加費

(含税昼食込)
2日間

■ 歯科医師 ¥20,000

■ 歯科技工士・歯科衛生士・学生 ¥10,000

※参加費の返金は致しかねますので、ご了承ください。

京都銀行 白梅町(はくばいちょう)支店 普通3787964
QuoVadis企画会 代表 竹澤保政(クオバデイスキカカイダイヒョウ タケサキヤスマサ)

【申込み方法】 左記の口座に参加費をご入金の上、参加申込書に必要事項をご記入いただき、下記までFAXでお申込みください。

お振込・FAXの締切は12/8(木)まで それ以降は当日受付にて。お申し込み受領の連絡は省略させていただきます。領収書発行は当日受付で承ります。

お問い合わせ先 ヒロコデンタルケア TEL.03-3708-3847(担当:大淵)

●主催: Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

FAX送信用/参加申込書(2016.12.10~11)

ご氏名: _____ (歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・学生)

連絡先名(診療室等): _____

連絡先住所: 〒 _____

Tel: _____ Fax: _____ e-mail: _____

懇親会(12月10日) ¥8,000: 参加 不参加 (どちらかに○をお付けください)

FAX送信先: 03-3708-3845 まで